

2011年度事業報告

事業計画に基づき、2011年度中に執行した事業の概要は以下の通りである。

	2011年度事業計画	2011年度事業報告
教 学	一貫性の充実 (教科別一貫教育の準備)	小学校での中高教員による数学(算数)科、英語科授業の実施。
	英語科の充実	イングリッシュラウンジでのネイティブ講師による英語指導を実施。
	海外体験教育の1期スタート	カナダ、ニュージーランド、オーストラリア等への留学や英語村(韓国)での英語研修、フランス修学旅行によって海外を体験する機会の創造に努めた。今後もカナダでのスキー研修等、海外体験教育の充実に一層注力していく。
	キャリア教育の充実及び 進路補償・教員研修の充実	指定校推薦枠の拡大及び、予備校講師による受験対策土曜講座実施。
	授業及び教育研究の充実	授業研修によって授業力の向上を図るとともに、i Pad 導入によって授業内容の革新に努めた。
財 務	75周年記念事業基本金組入	75周年事業に向けた基金の積立を開始。基金積立額は、今後基本金への組入れを行う。
	人件費削減 人件費率80%の達成	賞与削減等の効果により、対帰属収入の人件費率は72.5%に改善された。今後は手当の見直しにより、更なる健全化を目指す。
人 事	教職員の資質向上	教職員の新規採用と研修の強化によって教職員の指導力向上に努めた。
	次期管理職の養成開始	OJTによる研修の実施。
そ の 他	資源保護と電源問題への対応	廊下蛍光灯数の半減による節電や、人感センサー設置によって電力の削減に努めた。
	幼稚園多目的ホールの建設	学校下斜面(霞ヶ丘公園側)の一部崩落により、計画を延期した。
	びわ湖セミナーハウスの処分	有効利用並びに売却を検討中。
	ホールへの歩道及びネット設置	チャペルからリヴィエホールへの歩道及び防球ネット、花壇の設置を完了。